

■質問

WRC造において、上・下階で壁厚が異なる場合、実長(壁面～壁面)を求める壁長計算の設定方法を、教えてください

■回答

下記及び次頁の図に基づいて説明します。

なお、内容が継続することから必ず[ No.3047 ]を参照して下さい。

設定順序は下記によります。(次頁図参照)

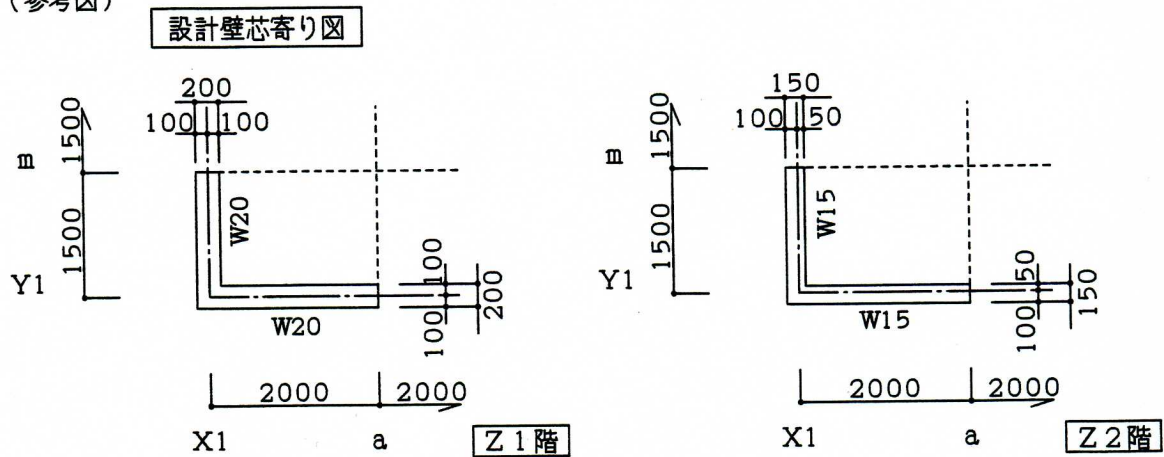
- ① 壁を芯々に配置します。
- ② 壁の「属性変更」ダイアログによって壁の実長が計算される条件を設定します。  
(設定方法は [ No.3047 ] 参照)  
壁の平面配置図が、不整合となる箇所が生じます。
- ③ 「より指定データ」ダイアログにより、壁及び梁の芯と通り線との寄り寸法を設定し、不整合箇所を調整し、“設計壁芯寄り図”に合わせます。  
壁及び梁の芯と通り線との寄り寸法設定方法を次に示します。

[芯寄り寸法設定方法]

対象平面図画面表示 ----> 対象通り線右クリック ----> より指定 ----> 「より指定データ」ダイアログ表示 ----> 「指定部材」・「層面」・「位置(mm)」を入力 ----> OK

(下図参照)

(参考図)



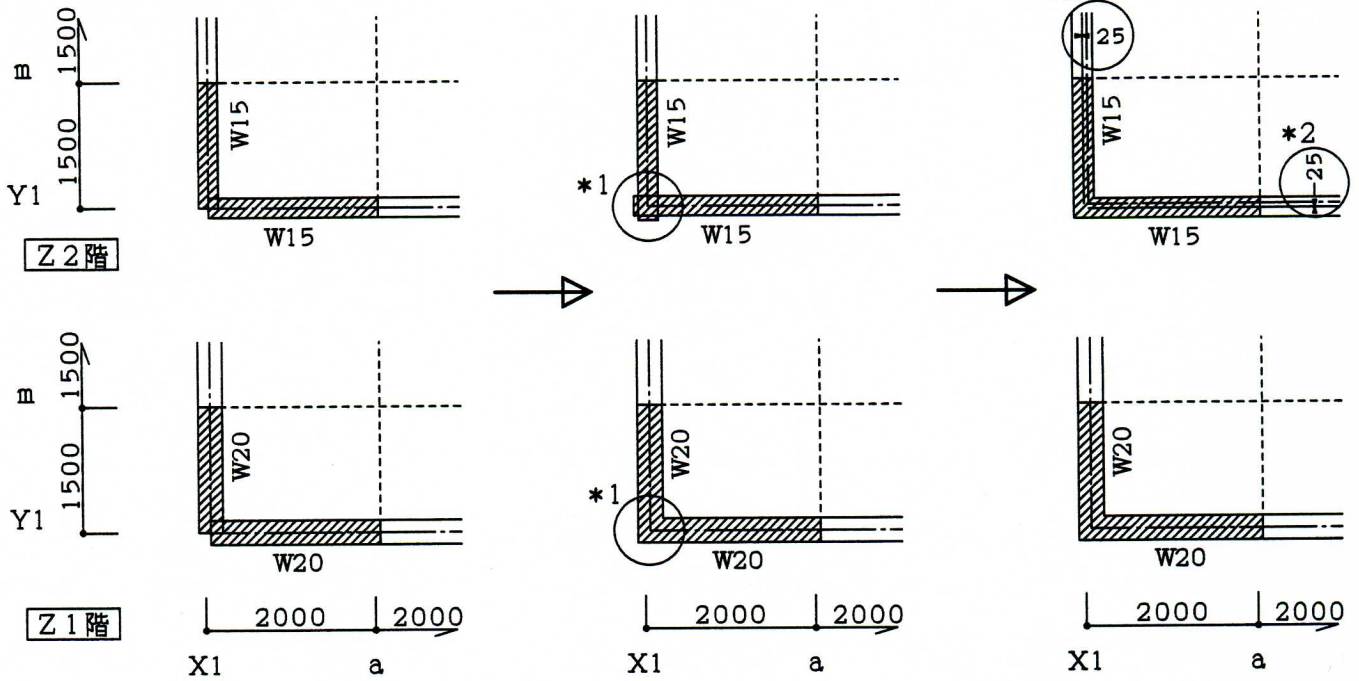
[「より指定データ」ダイアログ]

より指定データ	
適用	
<input type="checkbox"/> 指定部材	共通 ▼
<input type="checkbox"/> 層面	上層面 Z3 選択
	下層面 Z2 選択
<input type="checkbox"/> 位置指定面	芯 ▼
<input type="checkbox"/> 位置(mm)	(通り線名側から見て左側が+)
<input type="checkbox"/> 円弧仰角(度)	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

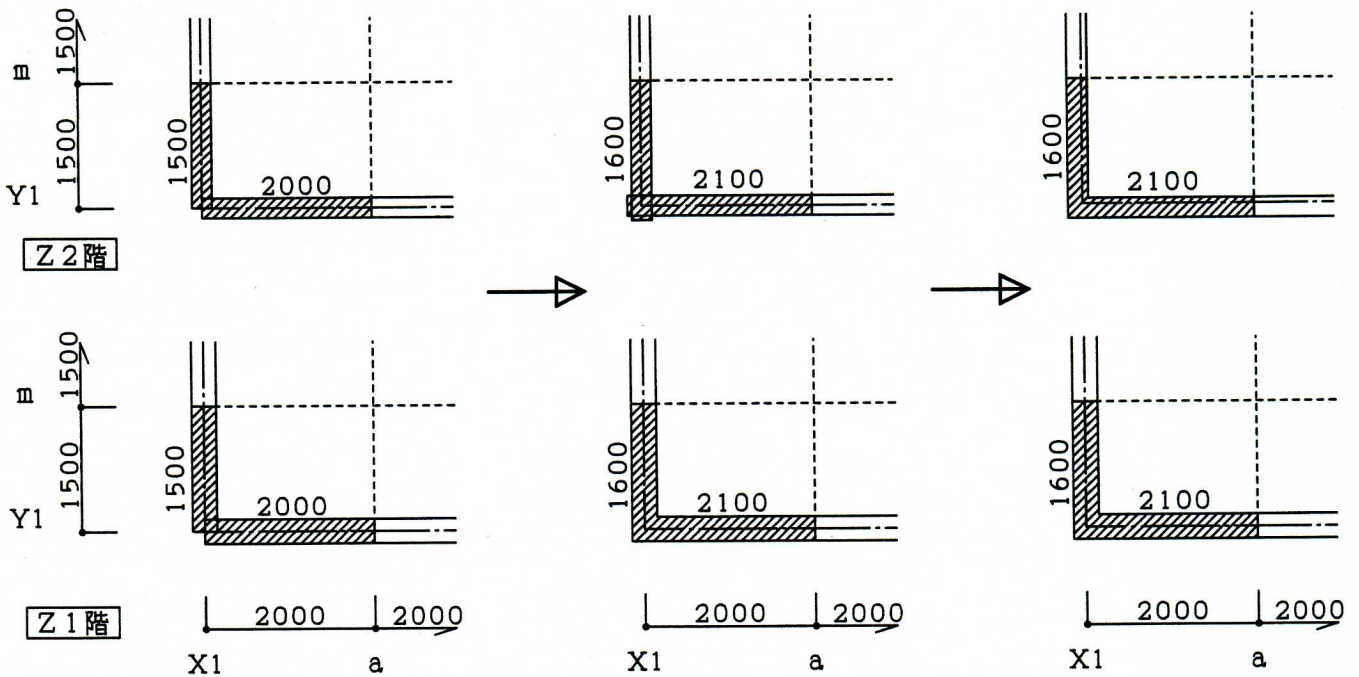
(参考図)

(前頁設定順序番号)

[平面配置図 (画面表示)]



[計算書出力・壁長表示図 ( § 5 )]



\*1 壁の「属性変更」によってそれぞれの壁の「延長寸法」を設定して下さい。  
(設定方法は [No. 3047] を参照して下さい。)

\*2 壁及び梁の芯と通り線との寄り寸法を設定して下さい。(設定方法は前頁を参照して下さい。)  
当該の場合は下記の条件で2回設定して下さい。

	1回目	2回目
指定部材	壁	梁
層面 上層面	Z3	Z3
層面 下層面	Z2	Z3
位置 (mm)	25 (-25)	25 (-25)

(Y1通り)  
(X1通り)